



東仙道
菊作り教室
時光 敬一
荒木 廣平
澄出 久美子
浜野 百代
野村 宏
羊野 文廣
元岡 タツ子
公民館職員

★東仙道菊花展 開催!

東仙道で数年ぶりに菊づくり教室が復活し、今年三月に第一回目の教室を開催しました。会員はベテランの方がほとんどで、挿し芽の苗を持ち寄り、交換や摘心の時期や方法などを改めて勉強しました。それぞれの知識を持ち寄り、時折失敗談も出てきてとても有意義な教室で、終始和やかな会になりました。

十月の終わりには丹精込めた大菊、懸崖けんがい、だるま、福助、ドーム、キャンドルなどが菊小屋に集められ、東仙道地区で念願の菊花展を開くことができました。中でも勇壮なオロチ（石見神楽の演目）を表現した作品は、華麗な菊の中に果敢な大蛇があり、鑑賞に来られた方の目が釘づけになっていました。

- 東仙道菊花展開催!・・・・・・・・表紙・2ページ
- グラウンドゴルフ交流全国大会・・・・・・・・2ページ
- 町内施設紹介 食堂武・・・・・・・・3ページ
- ダーのおばちゃんのおいしくレシピ・・・・・・・・3ページ
- 美都町内イベント情報・・・・・・・・4ページ
- 美都地域協議会・・・・・・・・4ページ
- うずめ飯 in 美都中文化祭・・・・・・・・4ページ

教室の会員が提案され、神楽で使う本物の頭や写真を見ながら発砲スチロールで作った頭と、懸崖菊を身体に見立てた大蛇、その傍に千輪咲きの酒樽や姫も登場し、ひときわ目をひく作品となりました。

また、東仙道保育所年長児五人も、今年初めて菊づくりに挑戦しました。キャンドルを一人一鉢受け持ち、土づくりから苗植え、毎日の水やりなどした結果、立派な花が咲き揃いました。白い花が咲くのが遅く「僕のはまだ咲かん」と心配をする姿もありました。保育所園児の菊は、秦記念館で開催された菊花展に菊づくり会員の作品とともに展示されました。

東仙道で初の菊花展に美都町内や、益田市内外の方が訪れ、じっくりと観賞していました。「ひとまる情報局を見た」と言って見に来られたり、福祉施設の方が車を連ねて来られました。皆さんに喜んでいただき、菊づくり教室の会員は、来年も『いい菊を作ろう』と意欲満々でした。

すでに来年の菊花展の構想も練り始めています。乞うご期待！



東仙道保育所年長児作品

益田市合併10周年記念&日本GG協会認定14コースオープン記念

☆グラウンドゴルフ交流全国大会in益田 開催！

10月27日(月)～28日(火) 全国最大級のコース数を誇る「ひだまりパークみと」のグラウンドゴルフ場において、グラウンドゴルフ交流全国大会in益田が開催されました。

初日の開会式は雨天でしたが、競技が開始される頃には日が射すようになり、翌日は朝から晴天の中でプレーが開始されました。東は千葉県、西は大分県から参加された選手は総勢387名で、A・B・Cの三グループに分かれ、試合に臨みました。それぞれ1位～20位までの表彰と、5位毎に125位までの「とび賞」、「ブービー賞」や「ぼたる賞」等の受賞がありました。日本一のコースに、皆さん、二日間疲れも見せず頑張っておられました。



食堂 武

昭和47年11月、美都町都茂地区に3階建ての「コミュニティーセンター」が竣工し、併せて隣接された平屋の建物には、食事や宿泊が可能な施設も造られました。その当時、山根武志さんが代表となり、奥さんの恵美子さんと「食堂 武」の経営を始められ、多くの方々が昼食で利用され、夕食時には仕事帰りのサラリーマンで賑わっていました。しかし、平成16年11月に益田市と合併したことから、美都総合支所の職員も大幅に減少し、食堂の利用者も少なくなりました。更に、武志さんが平成20年1月に亡くなられ、恵美子さんは、この辛い時期を乗り越え「都茂地区唯一の食堂までなくては、地域が衰退するばかり」との気持ちから、今日まで義姉の滑子さん（亡き武志さんの姉）と元気に切り盛りされています。現在は減少した人口等により、土日と祝日を定休日とされていますが、地域の行事や冠婚葬祭等の際には、休日でも営業されていますので、是非ご利用ください。

益田市美都町都茂1803-3 TEL0856-52-2841



こんにゃくの作り方

家で出来たこんにゃく芋で作るんよ。何回か作ると思う様なこんにゃくが作れるようになるよ。

◎材料

こんにゃく芋・・・茹でて皮をとった状態で1Kg

水またはお湯・・・4Kg (4L)

水酸化カルシウム・・・10g



◎作り方

①こんにゃく芋を洗って、一口大に切る。藁の芯が通るまで茹でて皮をむく。真っ白い芋が1kgできる。

②芋と水をバランス良く何回かに分けてミキサーにかけ、順次ボールに移す。最後まで分量内の水で仕上げる。

③ボールに移したこんにゃくは、粘りがでるまでしっかり手で混ぜて、3時間から4時間ぐらいそのままおく。

④水酸化カルシウムを2カップ（400ml）のお湯もしくは水で溶いて、こんにゃくの入っているボールにいれ、しっかり混ぜると、あくが効いてきて色が少し付き、混ぜるうちにボールの肌から離れるので、それを見計らって、タッパー等の容器に手早く入れる。押しつけながら、上をならしてから一晩おく。

⑤固まったこんにゃくの上に水をいれ、縦に包丁をいれて水を底まで通して切る。切ったこんにゃくを熱湯で25～30分ぐらい（大きさによる）茹でて、熱湯からあげて冷ますと出来上がり。



◎保存方法

冷めたこんにゃくは、水につけずに冷蔵庫で保存する。



山々が色づき紅葉が楽しめる秋の日、ダーのおばちゃん（板井川若杉 土佐キクエさん）のお宅を地域づくりコーディネーターの滝川さんと一緒に訪ねました。今回は、こんにゃく芋から作る《こんにゃくの作り方》を教えていただきました。

ダーのおばちゃんの
おいし〜レシピ。



★ 美都町内イベント情報 ★

- ★ 1月31日(土) 2月1日(日) 都茂地区文化祭(ふれあいホールみと)
- ★ 3月 1日(日) 東仙道地区文化祭(東仙道公民館)
- ★ 3月15日(日) 里の神楽(ふれあいホールみと)

※「益田市」のホームページもご覧ください。

※都合により、やむをえず変更または中止することがあります。ご了承ください。

美都地域協議会について

平成26年10月に開催された協議会の内容についてお知らせします。

● 主な協議内容

☆顧問制度及び地域協議会について

益田市顧問制度について、九月五日付で答申書を提出されました。それを踏まえ、市の方針が決定し、市長より説明がありました。

市の方針

*顧問制度について

平成二十七年三月三十一日をもって顧問制度を廃止する。
*地域協議会について設置期間を五年間延長する。
(平成二十七年度～平成三十一年度末まで)

☆新市建設計画について

「新市建設計画」については、これまで、未実施事業、将来的に必要な新規事業、取り組みの強化が必要な事業等、事業の優先順位等を提案し協議が進められてきました。今回は、ご意見を基に、新市建設計画の執行状況に関し、地域協議会として提出する意見書について協議されました。次回再度協議されます。

● 報告事項

- ①平成二十五年年度普通会計決算等の状況について
- ②健全化判断比率等の概要について
- ③行財政改革について(補助金の見直し)
- ④美都地域振興補助金の実施状況について
- ⑤美都総合支所事務分掌について(十月一日異動)

※会議録については、市のホームページに掲載しております。

★うずめ飯 in 美都中文化祭

昔は、稲作作業が終わる11月には、秋野菜を沢山入れた【うずめ飯や芋煮】が食卓にあがりましたが、最近は美都の家庭でも作る家は少なくなっています。今回、美都中学校文化祭では、地域の文化体験として、うずめ飯を作りました。事前に地元のおばちゃんからの指導・試作を行い、当日は習った生徒が、参加者や生徒を指導して調理し、とても美味しいうずめ飯ができました。



ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたら是非お知らせください。

なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問合せ等は左記電話番号またはメールアドレス

jumin-m@city.masuda.lg.jp まで

担当：住民福祉課

連絡先 美都総合支所 住民福祉課

☎ (0856) 511311